

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年12月11日

【評価実施概要】

事業所番号	4270202924
法人名	医療法人社団 創平会
事業所名	グループホームさしかた
所在地	〒859-3242 長崎県佐世保市指方町2216-1 (電話) 0956-27-1020

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目7217		
訪問調査日	平成20年11月27日	評価確定日	平成21年1月29日

【情報提供票より】(H20年 10月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年10月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16人	常勤	12人, 非常勤 4人, 常勤換算 7.62人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋造り		
	3階建ての	2階 ~	3階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	1,100 円	その他の経費(月額)	実費	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	300 円
	夕食	400 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(10月 1日現在)

利用者人数	18名	男性	4名	女性	14名
要介護1	7名	要介護2	4名		
要介護3	3名	要介護4	4名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 88歳	最低	76歳	最高	97歳

(5) 協力医療機関


協力医療機関名	くりや内科医院・村上医院・佐世保中央病院・川原光歯科
---------	----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

医療法人を母体とする当ホームは、医師の定期診療や看取りケアなど、医療と連携したサービスが充実しており、入居者や地元住民からの信頼が厚い。建物の一階がデイサービスセンターで、二階と三階がグループホームである。ホーム内は明るく、入居者もそれぞれ自由に過ごされており、家族も訪れやすい雰囲気である。地域住民との関わりを広く持てるよう管理者自ら民生委員の定例会や自治会、中学校などの地域に出向き、地域との交流の促進に努められている。職員の気づきや入居者の様子などは、職員間で共有されており、引継ぎ時にも口頭及び文書で確実に行われている。管理者及び職員は、理念に基いたそれぞれの役割と責任が意識付いている。日々の記録による実践や気づきをケアプランでの目標管理と見直しへ反映されており、入居者へのケアに活かされているのが窺える。

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>前回評価で指摘された改善課題は、具体的な改善目標を掲げ、実行されている。地域密着型サービスの理念として、「地域性」を活かせるよう理念に盛り込んでいる。又、理念に基いた実践につながるよう取り組まれている。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は職員全員で取り組み、管理者がそれぞれの意見や気づきを聞いて自己評価票を作成している。今後は、「特に力を入れている点・アピールしたい点」にも記入を行って、ホームをアピールすることが望まれる。又、それぞれの項目でもっと取り組むべきことなどはないか見直し(例えば場所間違いなど)、自己評価票を更に活用していく取り組みに期待したい。</p>
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	<p>運営推進会議には、地区民生委員、地区自治会長、家族会、ホーム管理者、法人副院長等が参加され、ホームの活動報告や課題点などが話し合われている。運営推進会議も10回目となり、会議でのアドバイス等を得て、ボランティア活動の受け入れなど、よりホームの地域性が深まっていることが窺える。</p>
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	<p>家族の来訪時に意見を聞いている。又、来訪できない家族にも毎月写真を同封した便りを送付するなど、入居者の暮らしぶりを伝えている。家族会を設けられており、家族間でも意見が交わされている。苦情処理に関する記録があり、苦情があった場合は、適切に対応されている。</p>
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	<p>地域の行事や自治会への出席等、地域と関わる機会を積極的に持たれており、管理者は中学校で講話するなどしてホームの理解に努めている。天候や本人の体調に配慮しながら、近隣へ散歩する機会を設けている。</p>

2. 評価結果 (詳細)

( 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	前回改善課題に挙げられたこともあり、優先的課題として取り組まれている。事業所独自の地域密着型サービスの理念として、「地域性」を活かせるよう理念に盛り込んでいる。		
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者を含め職員一人ひとりが、理念を意識しながら日々のケアが実践できるよう努められている。		
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事や自治会への出席等、地域と関わる機会を積極的に持たれており、管理者は中学校で講話するなどしてホームの理解に努めている。天候や入居者本人の体調に配慮しながら、近隣へ散歩する機会を設けている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価調査に対して熱心に学びの態度で対応がなされ、求めに応じて積極的に資料の提示・説明がなされた。改善計画シートを作成して、具体的に取り組まれている。		
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議には、地区民生委員、地区自治会長、家族会、ホーム管理者、法人副院長等が参加され、ホームの活動報告や課題点などが話し合われている。		

グループホーム さしかた

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当者にも活動内容を伝え、必要に応じて指導を受けながら、質の向上に取り組まれている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ホーム便りや写真等、定期的に入居者の暮らしぶりを伝えている。家族が参加できる行事も実施している。家族が気軽にホームを訪れることができるような雰囲気があり、職員とも肩肘張らないコミュニケーションがとれている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	事業者・ホームの苦情窓口・担当者名、行政の相談窓口と連絡方法が重要事項説明書に明記されている。苦情があった際は、職員会議を開催して対応を協議している。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ユニット間での異動や職員本人の一身上の都合による退職があるが、災害時での避難体制や入居者本人へのダメージを考慮した対応がなされている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修を受けられるよう情報を入手し、段階に応じて受講の機会を設けている。外部研修を受講した職員は、内部研修時に講師役となり、情報を共有するなどして職員の育成に努められている。又、ヒヤリハットを作成し、随時検討会議を開催して、ケアプランにも反映されているようだが、検討会議の内容が把握しづらい。		ヒヤリハット及び検討会議録について、例えば「いつ、どこで、だれが、何を、なぜ、どうやって(5W1H)」といった点を明確にし、会議記録には署名を残して、経過を追う必要があるものは経過記録を残しながら(ケアプラン・介護マニュアルの改訂等といった反映の必要がある場合は反映先を明記するなど)改善へつなげていくことを期待したい。職員間でヒヤリハットの共有とケアプランへの反映ができていますので、日々の些細なヒヤリハット事例も記入しながら、ヒヤリハットをより積極的に活用し、職員間での更なるトレーニングにつなげていくことに期待したい。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のグループホーム協議会に参加しており、定期的に勉強会へ参加し、ネットワーク作りも行われている。		

グループホーム さしかた

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居決定については、事前にホームの見学ができ、介護保険適応や地区の民生委員やケアマネージャーによる入居に至る経緯や本人・家族の希望、グループホームへの適応等を検討している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は入居者の一人ひとりの個性を把握し、敬意を払った語りかけをしている。関わりの中に温かみがあり、入居者の表情は明るく、食事の援助、対話の姿勢にはゆったりと入居者のペースに合わせた穏やかさがある。職員は、本人のできることには極力手を出さずに見守っている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人や家族の意見や意向を聴き、できる限りホームで対応されている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>個々の特性を把握してアセスメントし、介護目標を明らかにして介護計画を立案している。訪問時等に家族の意見を聴き、日常には入居者の意見を聴いて、ケアプランに反映している。ケアプランは家族に説明、送付し、捺印を頂いている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>短期・長期目標を設定し、定期的にケアプランの見直しを行っている。必要がある場合はその都度見直しを行っている。</p>		

グループホーム さしかた

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	管理者が中学校で講話を行ったり、学生ボランティアを積極的に受け入れるなど、認知症ケアの啓発に貢献し、多機能性を活かした取り組みに努められている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	健康診断や既往疾患に対して、常時相談・対応できるよう母体医療機関と連携している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りのケアができるよう医療機関との連携を図っている。又、家族会において説明し、終末期における看取りケアの同意書を得ている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者はそれぞれその方らしい清潔さと美しさがあり、個々に応じた支援ができているのが窺える。食事介助もさりげなく、声かけも適切である。個人情報の取扱いにも配慮されている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日課が入居者の営みとして息づいており、食事の準備、食事中の団欒、食後の片づけ、入居者同士の語りなど、入居者を主体とした支援ができている。		

グループホーム さしかた

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員が入居者とともに席に着き、食べこぼしや食べ方の混乱にもさりげなく援助されている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一階、二階間の水圧の関係上、隔日による入浴支援が行われている。順番や時間等は本人の希望を聴き、入浴時はくつろいで入浴できるよう配慮している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	短歌や囲碁などの趣味、読書、編み物等の道具を揃え、支援している。本人の力量に合わせ食後の片づけなどで役割があり、環境づくりがなされている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候や入居者本人の体調に配慮しながら、近隣へ散歩する機会を設けている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関には鍵をかけていない。エレベーター若しくは階段を乗降しての外出となる。職員は入居者の行動を察知し、見守りながら支援している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	グループホーム独自の災害訓練を毎月行っている。地域の自治会等にも働きかけており、消防署を交えた訓練も年二回行っている。		

グループホーム さしかた

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取状況、飲水量等観察し、メニューには食品数を多く使って栄養バランスを図っている。定期的に栄養士より指導を受けおり、栄養管理にも配慮されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホーム内は明るく食卓・居間・ソファー等、様々な居場所を作っている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者がそれぞれに持ち込んだ道具でその人らしさがでている居室も見受けられたが、一方で少々殺風景な居室もあった。		居室は、入居者と家族を結ぶ居場所であり、家族が共にくつろぐ場所づくり(居室づくり)であることを意識しながら、継続して家族に依頼し、家族が訪れてほっとできる空間にできるよう取り組まれることを期待したい。